

会派代表質問

創 政

森 建二 議員



子どもたちのコロナ制限を緩和し、 実りある教育を取り戻そう！

○学校教育活動の制限緩和について
問 コロナ禍の下、市内小中学校では活動制限が長期化し、児童生徒の多様な学習機会が失われています。マスク常時着用等による熱中症の恐れやコミュニケーション阻害等の影響が出ているとの声も聞きます。

県教育委員会は4月、必要以上の制限を緩和していく旨を発信しました。具体的には4つ。①学習、校外学習については実施を基本とする。②学校行事では運動会や修学旅行各種式典について教育的意義を踏まえて実施する。③給食については対面での黙食も可とする。④部活動は通常通り実施。

踏まえて、現在の市内小中学校でのグループ学習、学校行事の状況は。答 4月15日に県教育委員会から発出された教育活動の制限緩和の通知を受け、4月18日付で市内小中学校長にその内容を周知、県の通知に示された内容や留意点を参考に、感染症対策を継続しつつ、児童・生徒の貴重な活動の機会を確保できるよう指示したところです。グループ学習については、市内全ての小中学校において、感染症対策を講じながら実施しています。校外学習は、各校で必要な感染症対策を講じながら実施に向けて準備を進め、或いは既に実施した学校もあります。

問 学校行事。修学旅行については自分が旅行会社で携わった事もあり、その教育効果の高さは実感している所です。また、運動会、式典、授業参観についてはいかがか。答 修学旅行は、宿泊での実施を予定しており、また既に奈良・京都方面や箱根方面にて充実した実施ができたとの報告を受けています。運動

答 現在1万2,191戸の方々にご使用頂いており、標準家庭で一月当たり50立米を使用した場合、全国でも有数の安さとなります。

この安いガスを市の武器としてどの様に使っていくか。例えば企画政策課と協働で「移住」誘致政策を強化する等、PRする事は重要と思えます。検討下さい。

また、同じエネルギーの問題として千葉県の洋上風力発電事業への参画ですが、市の関与が及ばない状況の下、大網白里市には誘致とならなかつたとの事。今後も県とのパイプを探りながら、私達も「セールス」をして行かねばなりません。大網白里市もぜひ、県や他に対して営業しましょう。情報を取って営業をかける。他の市町村も必死です。私たち議員も協力できるはずで。ぜひ、よろしく願います。

※その他、○ウクライナ等からの避難民の受け入れ、○公園等トイレの洋式化、○市内防犯カメラ設置、について問い質しました。



関連質問 山下豊昭 議員



問 防災関係安全対策について伺う。

3月に発行した総合ハザードマップその中の本市の土砂災害警戒区域、調査予定地域に絞りを絞ります。国が示した指針に基づき今後5年を目処に調査を行うとあるが4年度の計画及び予定地域をお答え下さい。

答 現在指定箇所90箇所あるが本市では110箇所が調査対象であり、本年は山辺地区22箇所を対象であり調査完了後、千葉県より土砂災害警戒区域の指定を受けた際はハザードマップに反映し市民への周知を行う。

問 次に公共施設、事業管理、大網病院の運営について伺います。質問の前に大網病院の職員の皆様に対しコロナ禍中にも関わらず日夜ご尽力頂きまじ敬意を表したいと思います。

事の起こりは同地区の友人A氏家族に起こった事案です。家族の一人が救急車で大網病院へ搬送された時に対応した職員B氏が目の前にいる傷ついた患者の手当や優先治療を行わず緊急事態の対応とは思えない言葉と行動により不安を一時的に与えられ他地区の病院との連携話合いの結果緊急性を鑑みて、大網病院での対応を要請され、2日後に意識回復したその場にて改めてもうここでやることはないのですねと転院して欲しいその様な言葉が最後にあつたそうです。このような一連の言動等を含め、大網白里市民病院として市民に対する役割、治療行為等を安心して遂行出来るのでしょうか？

特に信頼はなくなりました後回復するのが大変です。一部の職員の不注意な言動により市民の皆様が病院に対する印象、感情、安心、信頼回復を含めどの様に認識しているのか今後の改善策を含めて簡潔明瞭にお答え下さい。

答 お答えいたします。ご指摘通り極めて不適切な言動等を確認を致した所です。当該職員より家族様への謝罪を始め院長自ら当該職員への厳重注意を含め今後全職員一丸となり市民皆様への信頼の回復と寄り添う接遇研修を通して病院全体の意識高揚と医療体制強化改善に積極的に取り組んで参り、基本理念であります地域の皆様から信頼される病院を目指して参ります。以上でございます。

最後に前向きな回答を頂き私も接遇の基本である100-1199では無く0である事、信頼の真の意味を学ぶ事が信頼回復への道であると私は信じています。この言葉を贈り1日も早い信頼回復出来事を願っています。

個人質問

市民の声を届け誰もが楽しく暮らせる 豊かなまちづくりの実践！

林 正清子 議員



問 全国の通学路の危険箇所が点検されましたが大網白里市には何箇所危険箇所が存在しますか。

答 通学路で対応が必要となった危険箇所は26箇所です。

問 全ての危険箇所安全対策を施すことは難しいと考えられますが、どの程度の対策がとれますか。

答 道路規制など警察が管轄する箇所については交通量等を調査していることとし、その他の箇所はすべて対策を完了しています。

問 市内のリサイクル回収倉庫が4箇所では足りない状況です。設置場所の増設や、スーパーマーケットとの協力など、対応策など有りましたらお聞かせください。

答 リサイクル倉庫は全部で四カ所ありますが、リサイクルできないゴミ等の投棄があるため、市有地内で職員が鍵の開け閉めなどの日常的に管理できる場所に設置しております。設置場所の増設につきましては、日常的に管理可能な市有地においての設置の管理について検討を進めてまいります。

また、スーパーマーケットによるリサイクルの取り組み状況を調査してまいります。

問 家庭で出る生ごみを地域で共同管理し、堆肥化を行うコミュニティコンポストを当市でも検討して頂きたいと思います。

答 コミュニティコンポストの取組につきましても行政だけでなく、既にNPO活動として運営されている事例なども含め、調査研究してまいります。

問 移住促進施策は、リモートワークを念頭に置いた改定が必要ではないかと提案しましたが具体的な手は

打たず、そのままの施策でよいのですか。

答 引き続き移住定住に向けた各種施策を推進する先進自治体の取り組みを研究し、本市の実情にあつた施策を検討してまいります。

問 ふるさと回帰フェアのHPでは本市の紹介がありませんが、どのような形態で出展したのでしょうか。

答 本市は、NPO法人ふるさと回帰支援センターの会員に登録していないので、千葉県のインフォメーションの一部を利用し、佐倉市と共同出展しました。

問 市長の「人口減少」に対する見解について伺います。

答 本市では、これまで「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口増加や関係人口の創出の拡大を目指して様々な政策に取り組んでいるところでございます。本年度は、新たに結婚新生活支援事業を実施するほか、子育て支援策のさらなる充実や生活利便施設の誘致など、魅力あるまちづくりの形成に努めています。今後も効果的なPRや的確な情報提供を図りながら、有効な政策を市内横断的に展開したいと考えております。

問 具体的にはどの課が関係した、どのようなプロジェクトですか。

答 先ほど庁内横断的というふうな申し上げましたけれども、各世代の職員をはじめ、様々な世代が意識を持っていて、今後、それらを集め、その問題を発見しながら、これからどうしていけばいいのかわからないような組織を進めたいと考えております。

※他に、空き家、個別避難計画、福祉避難所について質問しました。